

船員対策事業の出前講座実施！

鹿児島内航海運組合は令和2年度船員確保対策事業として、2月24日(水)に枕崎市にある鹿児島県立鹿児島水産高等学校で、1年生43名(海洋科39名、情報通信科4名)に対し出前講座を実施しました。

当日は、コロナウィルス感染症対策をしっかりと取り、九州運輸局鹿児島運輸支局と大阪～鹿児島～沖縄航路に5,848トンの大型RORO船「うりずん21」や福岡～鹿児島～沖縄航路等に系列会社とともに10隻(用船含む)が就航している、鹿児島荷役海陸運輸株と連携し実施した。

【実施内容】

- ① 運輸支局運航担当の野元首席による、出前講座の主旨説明及び講師等参加者紹介
- ② 運輸支局船員担当の中首席が、DVD「海を駆ける若者たち」日本の産業と暮らしを支える内航海運を使用し、その後、船員という職業について、基礎知識と現状を説明
- ③ 鹿児島荷役海陸運輸株式会社紹介のDVD視聴後、坂口船舶課長より、現在の取り組みとして「Mゼロ化へ対応可能な設備導入」「Wi-Fi全船導入」「教育用居住区の増設」や働き方改革としてGW、お盆、年末年始時の休暇日増などを説明、また、同校の卒業生である野元一機士から、現在の仕事内容ややりがいについて説明があった。

なお、同社(グループ会社含む)は現在、約83名の船員が在籍しているが、若年内航船員確保にも積極的に取り組んでおり、来年には約10名の採用(鹿児島水高1名含む)が内定しており、また、多数の鹿児島水産高校の卒業生が働いていることも紹介された。

(配布資料)

- ・内航海運の活動(令和2年度版)
- ・内航海運～地球にやさしく日本を運ぶ
- ・What is 内航海運?
- ・船の仕事ってなに?(マンガ)
- ・クリアファイル

鹿児島内航海運組合は、内航海運の課題である若年船員確保に向けて、今後も、鹿児島運輸支局及び組合員事業者と連携しながら、このような取り組みを継続していきたいと考えています。

